

やちまた

第6号

文化財ボランティア通信

—平成23年8月—

はじめに、本年3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに被災された皆様に御見舞い申し上げます。また、広域にわたる被災地の一日も早い復旧と復興を心からお祈りいたします。

さて、『やちまた文化財ボランティア通信』第6号をお届けします。八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの最近の活動状況や各種文化財情報をお知らせします。

また、本号には、かわらめき古墳群の学術発掘調査速報を掲載しました。

文化財ボランティアの近況

(平成23年度の登録者数は29人)

八街文化財同好会は、平成20年7月に開始した郷土資料館収蔵資料整備作業を現在も続けています。

1月から3月にかけて実施したかわらめき古墳群学術発掘調査では、登録団体や個人登録の枠を越えて、多くの文化財ボランティアの皆さんに参加協力いただきました。詳しくは、3ページをご覧ください。



八街文化財同好会による収蔵資料整備作業



かわらめき古墳群学術発掘調査のようす

● 第5号以後の文化財ボランティア活動一覧

平成22年11月13日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑦〔八街文化財同好会8人〕

12月11日 八街市文化財ボランティア応援講習会(市教育委員会主催)〔希望者14人〕

平成23年2月1日～3月11日 かわらめき古墳群学術発掘調査〔協力者17人〕

4月9日 郷土資料館収蔵資料整備作業①〔八街文化財同好会9人〕

5月14日 郷土資料館収蔵資料整備作業②〔八街文化財同好会9人〕

7月9日の郷土資料館収蔵資料整備作業③〔八街文化財同好会10人〕

(平成22年10月9日と平成23年6月11日の郷土資料館収蔵資料整備作業は、雨天中止。)

文化財情報コーナー

ゆめ半島千葉国体で郷土資料展示

平成22年10月3日(日)、ゆめ半島千葉国体デモンストラレーション競技のバウンドテニス大会が市スポーツプラザで開催されました。会場の一角には「八街の歴史・文化財展示コーナー(郷土資料館出張展示)」を設け、スポーツプラザ建設前に発掘調査された宮前古墳・磨拝塚(さいはいづか)古墳の出土資料や写真パネルを展示しました。市内外から来場された多くの選手や関係者が興味深く見学し、資料館職員の解説にも聞き入っていました。



企画展「小谷流稲葉の謎を探る」で最高観覧者数達成



市郷土資料館では、平成22年10月5日(火)から12月5日(日)まで企画展「小谷流稲葉の謎を探るー稲葉村の絵馬に見る信仰と祈りー」を開催したところ、過去最高の955人の観覧者数を記録しました。

また今回は、企画展初のリーフレットを刊行し、頒布(1部60円)しました。

資料等を提供いただいた関係者の皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

無形民俗文化財保持団体表彰

平成22年10月31日(日)市中央公民館で開催された市定例表彰式で、市指定無形民俗文化財保持団体の榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が、長年にわたり文化財の保護に尽力された功績により市から表彰されました。



市表彰を受ける文違麦つき踊り保存会会長(左写真)と榎戸獅子舞保存会会長(右写真)

文化財ボランティア応援講習会開催

平成22年12月11日(土)、市中央公民館で八街市文化財ボランティア応援講習会を開催しました。この講習会は、ボランティアの皆さんが様々な文化財保護活動を展開する上で必要な知識などを習得するために教育委員会が開催したものです。



今回は、かわらめき古墳群学術発掘調査に参加協力いただく方を対象に、古墳の概要や調査方法などを事前に学ぶことをテーマにしました。参加したボランティアさんからは、様々な質問が寄せられ、皆さんの関心の高さや強いやる気を感じることができました。

続いて、ボランティア懇談会を開催し、もっと文化財や郷土資料を活用すべきとの意見などをいただきました。今後の資料館運営や文化財保護に活かしていきます。

かわらめき古墳群学術発掘調査速報!!

市史編さん事業を進めている郷土資料館では、社会教育課と連携し、榎戸区に所在するかわらめき古墳群の学術発掘調査を行いました。調査では、多くの文化財ボランティアさんの協力を得、絶大のマンパワーを発揮いただきました。調査の結果、少なくとも3基で構成される古墳群であることが判り、大きな成果を得ることができました。概要は、以下のとおりです。



かわらめき古墳群 1号墳

調査期間：平成23年 1月12日～3月18日

(ボランティア参加期間は、2月1日～3月11日)

| 古墳名 | 墳形 | 規模 | 出土遺物(周溝内) | 想定築造年代 | 備考 |
|-----|----|------------|-------------------|------------------|----------------|
| 1号墳 | 円墳 | 外径 約28m | 須恵器・土師器甕 石製紡錘車 | 5世紀中頃 | 遺物はともに 破碎土器 |
| 2号墳 | 円墳 | 外径 約23m | 土師器高坏 ミニチュア土器 | 5世紀前半頃 | 新発見の古墳 |
| 3号墳 | 方墳 | 一辺 約15m | 土師器小型壺 | 4世紀後半～ 5世紀前半頃 | 新発見の古墳 |



3号墳出土小型壺

調査中の3月11日(金)午後2時46分過ぎ、発掘現場の台地全体が恐ろしいほど揺れに揺れたのでした。あの、東日本大震災時の地震です。以後、調査はしばらく中止し、18日(金)になってようやく終わることができました。

このように貴重な成果をあげることができたのは、多くのボランティアさんのご尽力の賜物であり、また、地権者の皆様、ご近所の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。



1号墳破碎須恵器・土師器甕出土状況

榎戸獅子舞奉納

平成22年10月17日(日)、榎戸の大宮神社で市指定無形民俗文化財の榎戸獅子舞が奉納されました。当日は天候にも恵まれ、市内外から訪れた多くの人を魅了しました。江戸時代初期から続く三匹獅子の舞いが奉納された後は、市立八街北小学校5・6年生有志による獅子舞が発表されました。地域の伝統文化が次代を担う子どもたちに受け継がれていく様子に、感動を覚えました。



三匹揃い踏み



八街北小学校の児童たち

八街の歴史・文化財出前講座のお知らせ

市教育委員会では、「八街の歴史・文化財出前講座」を実施中です。これは、市民の皆様、市の歴史や文化財に関する学習機会を提供し、郷土に対する興味や関心を深めていただくことにより、より良いまちづくりを推進するための一助となることを目指して開設しているものです。平成22年度は、全27回開催し、のべ761人に受講いただきました。

- 対象 市内に在住・在学・在勤の方を主体とする5人以上で構成された団体
- 実施日 年中(希望日の3週間前までに申し込み)
〔ただし、祝日・年末年始(12/28~1/4)を除く日及び市の行事等と重ならない日〕
- 実施時間 午前9時から午後9時までの概ね2時間以内(講座内容により変動)
- 申込場所 市教育委員会社会教育課文化財班(443-1464)または郷土資料館(443-1726)
- 受講料 原則無料
- 実施会場 ご希望の会場へ出張(原則として申込団体が用意)
- ◎メニュー
 - ①八街の歴史(前編)・(後編) 各1時間30分
 - ②八街市内の文化財 1時間~
 - ③発掘調査でわかった八街のむかし 1時間30分
 - ④ふれあいバスでいく文化財探訪 3~4時間程度(少人数向き)

第5号発行後、あっという間に10か月が経過。この間、東日本を中心に日本国全体が未曾有の危機的事態に遭遇し、今なお過酷な状況で生活している人が数多くいることに胸が痛みます。この通信紙に対するご意見・ご要望、または文化財保護やボランティア活動に関するご意見などがありましたら、社会教育課文化財班へお寄せください。

やちまた文化財ボランティア通信 第6号

発行日 平成23年8月10日
編集・発行 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35番地29
八街市教育委員会 社会教育課 文化財班
Tel : 043-443-1464 Fax : 043-443-1448
e-mail : shakyo@city.yachimata.lg.jp